

第八回定期委員会開催

決定された方針

三月八日、動労千葉は、労働者福祉センターにおいて百名をこえる委員・傍聴者の結集の下、第十八回定期委員会を開催し、「四・一体制」粉碎、動労革マル・鉄道労連解体、労働運動の戦闘的再生にむけて新たな決意で、組織の総力をあげて闘いぬく方針を満場一致決定した。

①「四・一体制」粉碎にむけてストライキ体制を堅持し、新たな国鉄労働運動解体攻撃を粉碎しよう！
②組織財政基盤の確立、全組合員が活動家となり、原職奪還をかつとろう！
③危機にたつ動労革マル・鉄道労連解体闘争をより強化し、右翼労働「統一」粉碎！ 闘う労働運動の旗を守りぬこう！
④労働連帯をより強化し、三里塚二期阻止―反戦反権力闘争の砦三里塚闘争に決意と対決しよう！
以上の基本方針の下に、当面する最大の課題として、三・二七三里塚―四・九国鉄労働者集会の成功かつとろう！ 物販オルグに総決起しよう！

不当労働行為と認定

都労委 J R 東日本に命令

三月三日、東京都労働委員会は、国労新宿車掌区分会田中博さんに対する J R 当局的不当労働行為を認定、さらに新宿車掌区長青木や職制らの国労脱退工作を会社ぐるみで「国労の組織の動揺・破壊を狙った支配介入行為」と明らかにし、①田中さんの内動車掌への復帰 ②国労組合員への差別の禁止 ③「今後このようなことがないよう留意します」との陳謝文を従業員の見やすい場所に掲示するよう J R 東日本に対し命令した。

この間、新宿車掌区では、区長青木らをはじめ「鉄輪労」の助役どもが、田中さんをはじめとした国労組合員に「いくら仕事ができても国労ではだめだ」「組合を変わらなければ電車乗務員に降ろす」「考えて行動しないと田中君のようになる」と執ように悪質な不当労働行為がくり返えされていた。

さらには、国労組合員に対し、「Kの組織率が高い。なぜ崩せないのか。上から言われている」「＼なあなあでは駄目だ。問題を起こせ」と言われている」「やらなければ私と首席の生活がかかっている」と露骨に国労の組織破壊が行われていた。

今回の都労委の不当労働行為の認定と救済命令は、全社会的に J R 当局の会社ぐるみの悪質極まりない不当労働行為を明らかにすると同時に、全国で苦闘する仲間にも多大な勇気を与えたことは確実だ。

そしてなによりも、当局の恫喝に屈せず、敢然とたたかいたぬいた国労新宿車掌区分会の田中博さんがこの勝利を導いた。

すべての仲間のみなさん！ 反転攻勢のチャンス到来だ。全国の苦闘する仲間は、田中さんの不屈のたかひに統こう！

われわれは、「会社側としては不当労働行為の事実はなかった」としてぬけぬけと開き直る J R 当局を断じて許さない。そして、当局のそのような態度を助長させているものこそ、動労革マル・鉄道労連であることをハッキリさせ、解体・一掃のために更にたかひに統こう。

三・二七三里塚から四・九国鉄労働者集会へ全力で決起しよう！

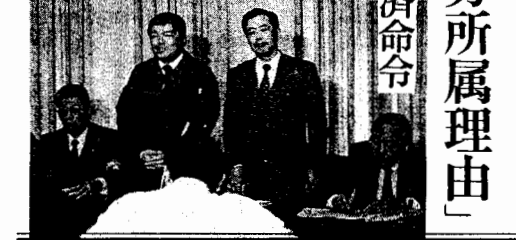
3.27三里塚～4.9国鉄労働者集会へ

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

不当労働行為と認定

都労委「不当」と救済命令
「配転は国労所属理由」

国労新宿車掌区分会田中博さんに対する J R 当局的不当労働行為を認定、さらに新宿車掌区長青木や職制らの国労脱退工作を会社ぐるみで「国労の組織の動揺・破壊を狙った支配介入行為」と明らかにし、①田中さんの内動車掌への復帰 ②国労組合員への差別の禁止 ③「今後このようなことがないよう留意します」との陳謝文を従業員の見やすい場所に掲示するよう J R 東日本に対し命令した。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！